

105-232

問題文

この祖母からインフルエンザの予防接種について薬剤師に質問があった。インフルエンザの予防接種に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 祖母は1年前にインフルエンザの予防接種を受けているので、今年はインフルエンザの予防接種を受ける必要はない。
2. 祖母は70歳なので、インフルエンザの定期予防接種の対象者となる。
3. 祖母が、この後にインフルエンザの予防接種を受けて健康被害を生じた場合、予防接種健康被害救済制度による救済措置を受けることができる。
4. インフルエンザHAワクチンは生ワクチンなので、ワクチンの接種によりインフルエンザを発症することがある。
5. インフルエンザはB類疾病なので、集団予防に重点がおかれている。

解答

問232 : 3, 5問233 : 2, 3

解説

問232

ザナミビル（商品名：リレンザ）は、ノイラミニダーゼ阻害薬です。A 型及び B 型インフルエンザウイルスに有効です。専用吸入器を用いて吸入します。

選択肢 1 ですが
ステロイド吸入剤に関する記述です。ザナミビル吸入後のうがいは必要ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが
ザナミビルは、吸入器を用いた吸入により気道に薬剤を作用させます。吸入が上手くいかない場合に、ブリストー内の薬を飲んでも効果が期待できません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。
ザナミビルの吸湿性が高いため、使用直前に穴をあけます。

選択肢 4 ですが
体調が改善しても、使い切ります。ウイルスの再増殖の懸念があるためです。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、正解は 3,5 です。

問233

選択肢 1 ですが
インフルエンザの予防接種は毎年受ける必要があります。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが
インフルエンザワクチンは、不活化ワクチンです。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが
予防接種法に基づく A 類疾病とは、集団感染を予防するために予防接種を行う疾病のことです。一方、B 類疾病とは、個人感染を予防するために予防接種を行う疾病のことです。インフルエンザは B 類なので「個人感染」予防に重点がおかれています。よって、選択肢 5 は誤りです。（）

以上より、正解は 2,3 です。

参考)